

ソニー生命カップ 第46回全国レディーステニス大会
第12回チャレンジ大会

特別協賛	ソニー生命保険株式会社	
主催	(公財)日本テニス協会 朝日新聞社	
後援	(公財)日本スポーツ協会 日刊スポーツ新聞社 メ〜テレ GAORA 岐阜県テニス協会 東京都	
主管	日本女子テニス連盟 岐阜県支部	
協賛	ヨネックス株式会社	
大会会長	大友 克之	岐阜県テニス協会会長
大会副会長	木村 俊介	朝日新聞社岐阜総局長
大会名誉顧問	高橋 薫	ソニー生命保険株式会社 代表取締役社長
大会役員	岩崎 彌廣	岐阜県テニス協会理事長
大会役員	長岡 秀嘉	ソニー生命保険株式会社 支社長
大会委員長	名里 美穂子	日本女子テニス連盟岐阜県支部長
ディレクター	山下 里登美	全国レディース委員長
レフェリー	牧村 洋子	
アシスタントレフェリー	藤原 ちえみ	
運営委員	梶田 恵	松下 祐紀
競技委員	安藤 千賀子	梅田 宗子
日程	2024年9月18日(水) 予備日9月19日(木) 受付時間 午前8:30 ~ 9:00	
会場	岐阜ファミリーパークテニスコート (砂入り人工芝コート) 〒501-2511 岐阜市北野北 997 TEL058-229-6682	
種目	女子ダブルス	
試合方法	「JTA テニスルールブック 2024」に準ずるトーナメント すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用 本戦6ゲーム先取 コンソレーション6ゲーム先取、但し天候等により変更あり (敗者ボールを使用) セルフジャッジ ウォームアップはサービス4本とする	
使用球	YONEX TOUR PLATINUM (ヨネックスツアープラチナム) 第46回大会指定球 敗者、使用球持ち帰	
服装	「JTA テニスルールブック 2024」に基づく。 テニスウェアを着用・長ズボン可・ロゴ規定はありません。	
傷害	大会事務局にて大会期間中の傷害保険に加入しています。試合中に傷害が発生した場合は、大会本部までお知らせ下さい。	

そ の 他

※本大会は、ソニー生命カップ第46回全国レディーステニス大会に準じて行います。

※この大会の申込者で50歳以上（1974年12月末日以前出生）の選手は、朝日東海レディーステニス大会クイーンの部の参加資格があります。

*第46回全国レディーステニス大会県予選会大会2日目の正午までに、大会本部へ申し込む。

※本大会は、すべてのプレーヤーを公平に扱います。

※本要項は、天候等、止むを得ない事情により変更される事があります。

天候不良による中止などの緊急の連絡は、JLTF 岐阜県支部のホームページに掲載します。

☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイブレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォルト」
3. 相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルで速やかに行う。
代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォルト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、一人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、一人が「フォルト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「(サービスの)レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォルト」「アウト」をコールしたプレーヤーが「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。
ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球が正しく相手コートに入らなかった場合は相手への妨害が起こってないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両プレーヤー・チームが判定とコールをすることができる。
7. サービスのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った側の失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った側の得点。
ポイントが終了した後で、妨害があったとしてやり直しの要求はできない。
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は第 1 サービスからやり直す。
9. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォルトのボールを誤って蹴飛ばした場合は、相手のプレーヤーが妨害と判断した場合「レット」をコールできる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ・試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れたい時
 - ・相手プレーヤーの言動やコール、フットフォルトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時(緊急を要する場合は直ちに)、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。

☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

ロービングアンパイア(コート付近の通路にいます)を呼んでください。

ソニー生命カップ 第46回全国レディーステニス大会 チャレンジ大会

2024. 9. 18

